

ウェブ版は画像にぼかし加工をしています。

OCHANOMIZU University Junior High School

*Bridging
to the Next*



お茶の水女子大学
附属中学校

2026 年度 学校案内

お茶の水女子大学附属中学校は
2027年 創立80周年を迎えます
～ Since 1947 ～





OCHACHU SCHOOL GUIDE

2026



Contents

校長挨拶	3
教育目標、沿革	4
教育課程、時程、制服	5
教育研究、お茶中生の探究活動を支える自主研究	6
お茶中が大切にしている3つのこと、附属校としての取り組み	7
教科紹介	
国語、社会、数学	8
理科、音楽、美術、保健体育	9
技術家庭、英語、総合、道徳	10
お茶中生の学び・進路選択を支える	11
帰国生徒教育学級	12,13
お茶中カレンダー	14,15
お茶中の部活動	16
進路状況	17
卒業生からのメッセージ	18,19



お茶の水女子大学 理学部生物学科 教授

お茶の水女子大学附属中学校 校長

畹田 智

本校における教育と その目指すところ



お茶の水女子大学附属中学校は、1882年（明治15年）に創設された東京女子高等師範学校附属高等女学校を前身とし、1947年（昭和22年）の学制改革で分離独立して、男女共学の中学校として発足しました。前身も含めると、本校は143年もの歴史と伝統を紡いできました。2027年、お茶の水女子大学附属中学校として創立80年を迎え、引き続き、伝統を次の未来へと繋げていきます。

本校では、開校以来、「自主自律の精神をもち、広い視野に立つて行動する生徒を育成する」という教育目標を掲げています。この大きな目標を達成するために、生徒は積極的に日々の授業や部活動、生徒祭や体育大会など毎月のようにある盛り沢山のイベントに取り組み、「科学的・論理的思考力」、「グローバルな視座」および「あたたかく深い人間力」の育成を目指します。

本校の特色の1つに、主体的学びを実践する教育活動である「自主研究」があります。「自主研究」は1978年（昭和53年）から続く探求活動で、1年生から3年生の全生徒が自分の興味のある課題や対象を選び、多くの方々のサポートを受けながら長い時間をかけて調査や検証を行います。様々な業界や分野で活躍されている方による課題発掘セミナー、自主研究ラウンドテーブルおよびポスター発表会などを通して、生徒1人1人が主体的に学び、考え、調べ、悩み、助けを借りて再び学び、考え、決断し、プレゼンし、振り返ります。生徒達は、探求自体を楽しみ、協働することや準備の大切さを実感するだけでなく、生徒自身が自分を見つめ直すことで、将来のやりがいや進路を見つけるきっかけにもなっているようです。

また、本校は中等普通教育を基盤とし、本校教員とお茶の水女子大学教員とが積極的に連携しながら中学校教育の理論及び実際に関する実践的研究も進めています。その一貫として、文部科学省から特定テーマの研究開発を行う学校として頻繁に指定され、未来の中学校教育のあり方を研究しています。例えば、2014-2018年では、新教科「コミュニケーション・デザイン科」を開発

しました。この科目は「協働的な課題解決を支える思考・判断・表現の力を育てる授業づくり」を主題とした研究から創出され、協働的な課題解決の力を育成することを目標および内容とした教科です。この教科に取り組むことで、生徒は問題解決のための様々な考え方や多様なコミュニケーションの方法を学び、それらを活用しながら具体的な課題の解決に取り組むことを経験しました。また、「学習語彙の活用を通じた授業改善」が採択されています（2025-2029年）。本研究開発では、新教科「知の架け橋」を設置し、日本語の学習言語指導を見直し、教科を超えた学習語彙を整理し、その実践的な活用を支援します。これにより、生徒が多様な文脈で学習語彙を自在に使いこなす、実社会で応用できる力を育むことを目指します。今後も、このような先進的な教育研究開発を進めることで、日本の教育の向上に取り組んでいきます。

さらに、本校では1979年（昭和54年）から帰国生徒教育学級を設けており、帰国生の「個に応じた特性伸長」だけでなく、一般生との「多文化共生」に関する教育にも力を入れています。1年生時は、帰国生だけの特設学級で過ごししながら、学校・学年行事、生徒会活動、部活動など学校生活全般は一般生と一緒にいきます。2年生以降は混合学級になり、異なる背景をもつ生徒が同じ教室に集い、それぞれの考えや価値観を日々交換・共有することで、未来社会を生きる生徒の人間力を育みます。

以上のように、本学は、お茶の水女子大学キャンパス内の緑豊かな落ち着いた環境の中で、中等普通教育、各種イベント、教育研究および異文化交流を通じて、生徒1人1人が、伸び伸びと、すくすくと、各自の目標に向かってそれぞれに確かな成長を実感できる場所と時間を提供します。そして、生徒1人1人の希望のキャリアを掴むべく、困難な課題と向き合い、臆せず解決策を見出す努力をし、考えることを諦めず、積極的に未来を拓いていけるよう、教職員一同、生徒に寄り添い、共に歩み、サポートしていきます。

お茶の水女子大学附属中学校 教育目標

自主自律の精神を持ち、 広い視野に立って行動する生徒を 育成する

本校は、お茶の水女子大学の附属中学校として、中等普通教育を行うほか、中学校教育の理論及び実際に関する研究と、学生の教育実習を行うことを目的としています。また、帰国生徒教育学級を併設しています。

附属中学校のこれまでとこれからの歩み

- 明治 8 (1875) 年 「御茶の水」に東京女子師範学校開校
- 明治 15 (1882) 年 東京女子師範学校附属高等女学校創設 (中学校の前身)
- 昭和 7 (1932) 年 現在地「文京区大塚」に移転
- 昭和 22 (1947) 年 東京女子高等師範学校附属中学校発足 (男女共学)
- 昭和 27 (1952) 年 お茶の水女子大学文教育学部附属中学校に改編
- 昭和 42 (1967) 年 創立 20 周年記念式典
- 昭和 52 (1977) 年 創立 30 周年記念式典
- 昭和 54 (1979) 年 帰国子女教育学級発足
- 昭和 55 (1980) 年 お茶の水女子大学附属中学校に改編
- 昭和 62 (1987) 年 創立 40 周年記念式典
- 平成 3 (1991) 年 体育館竣工
- 平成 9 (1997) 年 創立 50 周年記念式典
- 平成 19 (2007) 年 創立 60 周年記念式典
- 平成 20 (2008) 年 第一校舎改修工事完了
帰国子女教育学級 30 年の歩み公開研究会
- 平成 21 (2009) 年 文部科学省研究開発学校に指定される (平成 23 年度まで)
- 平成 26 (2014) 年 第二校舎改修工事完了
文部科学省研究開発学校に指定される
(1 年延長して平成 30 年度まで)
- 平成 29 (2017) 年 創立 70 周年記念式典
- 平成 30 (2018) 年 帰国生徒教育学級 40 年の歩み公開研究会
- 令和 3 (2021) 年 公開研究協議会 (オンライン開催)
- 令和 7 (2025) 年 文部科学省研究開発校に指定される
(令和 10 年度まで)
- 令和 9 (2027) 年 創立 80 周年記念



教育の柱・研究の柱

自主的にものごとに取り組み、自分の考えを持ち、他者との協力関係を築くことのできる生徒を育成することを教育の柱としています。教育研究については、乳幼児期から青年期までの教育を人間発達の視点から捉えてカリキュラム開発を行い、各校園との連携のもと、実践・研究を進めています。

時程

- 8:20 朝礼
 - 8:40 ~ 1~4 時間目
 - 12:30 昼食・昼休み
 - 13:20 ~ 5~6 時間目
 - 15:15 終礼・清掃
 - 15:40 部活動など (下校可)
 - 16:50 最終下校
- ※火曜日の 6 時間目は週がわりで委員会や係活動を行います。
※土曜日は、月 1 回程度、学校行事や授業などで登校します。



教育課程

1 週間あたりの授業時間数 (1 単位時間は 50 分です。)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	英語	道徳	総合カリキュラム		計
											自主研究	総合・特活	
1 年	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	1	1	2	30
2 年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	2	30
3 年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	3	30

制服



制服は、A (学ラン+スラックス)、B (セーラー+スカート)、C (セーラー+スラックス) の 3 タイプから選べます。スラックスは 2023 年度に役員会生徒が中心となってデザインし、導入しました。



教育研究

自主自律の精神をもち、広い視野に立って行動する生徒を育成するという学校教育目標を柱として、お茶の水女子大学をはじめ、様々な研究機関や研究者と連携して常に最新の知見を取り入れた教育研究活動を行っています。また、教育と研究を通じて、個々の生徒の発達に寄り添いながら、中学生という変化の著しい時期の成長を支えています。本校での学びを基盤に、生涯にわたって自律的に学び続け、人格を磨き、よりよい社会の実現のために、自身のもつ力を広く社会で発揮できる人間を育成することを目標としています。

具体例としては、生徒の「自主研究」を対象とした教育研究、および帰国生徒教育研究があり、いずれも 40 年を越える歴史があります。情報活用教育も本校の特色の一つであり、全国に先がけた先進的な取り組みを続けています。また、各教科ではそれぞれの学問領域の専門性に基づいた教育研究を行っています。そのほか、学校全体で決めたテーマに基づいて研究活動を行うことも多く、2026 年度からは「教科を超えた学習語彙の活用を支援する教育課程」について、文部科学省の研究開発学校の指定も受けています。

これらのような長年の多岐にわたる研究の蓄積と、生徒とともに教師も学び、向上し続ける環境が、本校の財産であり、生徒の教育を支える大きな力となっています。

研究主題(2025 年度－2028 年度)

教科を超えた学習語彙の

実践的活用を支援する教育課程

◇ 研究主題の趣旨 ◇

学習言語とは、教科の学習をしたり、情報発信をしたりする時に使う言語です。本校では、新教科「知の架け橋」の時間を中心に、学習で使う「ことば」に焦点をあてた研究を行っています。皆さんが「ことば」の意味をよく考えたり、「ことば」の意味を共有して豊かなイメージを持つようになったりすることで、よりわかりやすく、より深く、お互いに学び合える授業をめざしていきたいと考えています。

お茶中生の探究活動を支える自主研究

「自主研究」とは、自分の興味・関心にもとづく課題を設定し、自分なりに方法を考え、試行錯誤して追究し、その成果を工夫して発表する、主体的な研究活動の時間です。本校では昭和 53 (1978) 年から教育研究の一環として「自主研究」の時間を設けています。

1 年生では自分の興味・関心を見つけ、探究の方法について学びます。2 年生は、自分で設定した課題について、同じジャンル

のテーマを持つ先輩や顧問の先生のアドバイスを受けながら課題を追究し、ポスターを作って発表をします。3 年生では 2 年生からの研究を完成させ、その成果を大学講堂での発表会や生徒祭で発表し、研究集録にまとめます。

このような活動を通し、課題を追究する力、学習意欲、論理的思考力の育成を目指します。

お茶中が大切にしている 3 つのこと

本校では、3 年間で、多様なステージで活躍できる行動力のある人、様々な立場の人と問題意識や課題を共有できる懐の深い人へと大きく成長していくことを念頭に、以下の 3 つの柱に沿って教育活動を展開しています。

科学的・論理的思考力の育成



津波発生装置を用いて津波が生じるメカニズムを探る理科の授業。目で見て考えた後、スローモーションで撮影し、現象をさらに分析します。話し合いやレポート作成、プレゼンテーションを通して、社会に出てからも活かされる科学的・論理的思考力を育成します。

グローバルな視座の育成



英語科の分割授業や ALT による授業の他、グローバルキャンプやスプリングイングリッシュ、留学生との交流などの機会を積極的に取り入れています。多様な言語及び文化に触れてきた帰国生と共に学び合う機会がある点も特徴の一つです。

あたたかく深い人間力の育成



学校、学年、学級等、様々なつながりの中で、生徒が主体的に活動できる場面を大切にしています。開かれた学校として社会とのつながりを意識し、生徒会ではボランティア活動や近隣の国立大学附属校を中心とした他校との交流なども行っています。

附属校としての取り組み

大学の附属校であることの利点を活かした様々な取り組みの一部をご紹介します。

留学生との交流



サマープログラム



卒業生に学ぶ



研究室訪問



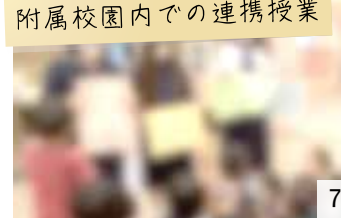
大学との連携授業



附属校園内での交流



附属校園内での連携授業



大学構内での活動



1. お茶の水女子大学他、大学の留学生との交流授業 2. お茶の水女子大学の留学生に日本の文化を紹介するサマープログラム 3. 様々な業界で活躍する卒業生に学ぶ授業 4. お茶の水女子大学の研究室を訪れ、研究の現場に触れる研究室訪問 5. お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所やサイエンス&エデュケーション研究所と連携した理科の授業 6. 附属高校の生徒との交流（金融・経済学習コンテスト参加についてアドバイスをもらう） 7. 附属幼稚園と連携した家庭科の授業 8. 広い大学構内で行われる自然観察やフィールドワーク

お茶中生の声



自主研究で知った新たな視点、新たな自分。

自主研究は、自分の興味のあることをジャンルを問わず探究できる、お茶中独自のカリキュラムです。美術分野やデザインに興味があった私は、フォントや色彩について研究し、最終的に「テキスト広告」を作成しました。研究の過程では行き詰まることもありましたが、友人や顧問の先生からアドバイスをもらったり、アンケートを取って客観的な視点を取り入れたりすることで、より深い研究にすることができました。

1 年生のときには自主研究セミナーやゼミに参加し、テーマ設定や研究の進め方を学んでから研究に入るため、探究活動が初めてでも安心です。この活動を通して自分の「好き」を深め、より自分自身を知ることができそうです。

ぜひ、お茶中で自主研究をしてみませんか？



2025 年度 第 3 学年

教科紹介～これがお茶中の授業です～



感性を磨き、論理的に考え、表現し、
伝え合う言葉の力を育てる

国語科では、実生活に生きる豊かな言葉の力を身につけて欲しいと考え、他者と関わり協働する力、言葉で感じ想像する力、言葉で考える力、言葉を楽しむ感性などを育てていくことを大切にしています。

生徒達の主体的な活動と活発なコミュニケーションを基盤とした言語活動を通して、実際の社会の中で運用できる確かな言葉の力や思考力を育む授業作りに取り組んでいます。



写真集に添えた詩を ICT を活用して共有し発表し合う



考え、表現し、行動する社会科

本校の社会科では、地理・歴史・公民の三分野を互に関連付け、基礎学力の向上を図っています。また、話し合いや発表、専門家の方を招いた学習を取り入れ、社会の一員として広い視野を持ち、行動できる市民を育てることを目標としています。

知識や資料を活用して読み取ったことを結びつけて、多面的・多角的に問題を考察すること、広い視野に立って解決方法を考え、自分の意思を決定することを重視した授業に取り組んでいます。



自分で集めた資料をもとに議論する



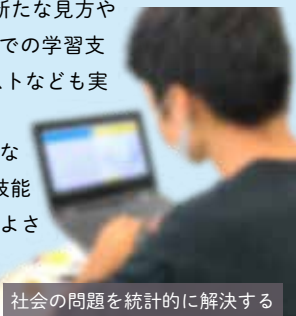
「なぜ？」を「なるほど!」と「もっと!!」につなげる数学

数学の授業は、単に問題を解くだけではありません。お茶中では、数学の問題を見つける学び、解決の方法を多様に考える学び、新たな見方や考え方を獲得する学びを目指しています。複数教員での学習支援やお茶大生による少人数補習、狭い範囲での小テストなども実施して基礎を固めています。宿題も充実しています。

それにより、お茶中生は、数学についての基礎的な概念の理解を深め、数学的な技能を習得し、知識・技能を活用して考え表現する力を高めています。数学のよさを実感することで、数学を進んで活用して考え続けるたくましい姿がたくさん見られます。



図形の証明を話し合っていく



社会の問題を統計的に解決する

お茶中生の声

仲間と学びあった大切な糧

お茶中の授業は、「更に深く」を意識した内容が多く、新鮮な学びを得ることができます。

例えば社会の授業では、地図と社会問題を組み合わせたレポートを作ったり、グループワークを行うことが多いです。また、音楽では自身で曲を作ってみたり、プロの方の演奏を聞いたりする機会もあります。そして、美術では自由な課題を通じて、自分自身を表現する方法を学ぶことができます。こうした教育のもと、お茶中のモットーである「自主自律・広い視野」が体現されていきます。その学びは教室の中だけに留まりません。部活動や委員会活動でも、仲間の意見を尊重しながら自分の考えを形にする経験を積み、個性を高め合うことができます。

お茶中は互いに視野を広げ合いながら成長できる、かけがえのない学び舎です。学びがワクワクに変わる瞬間を体験してみませんか？



2025 年度 第 3 学年

ウェブ版は画像にぼかし加工をしています。

各教科のパネルについては、裏表紙を是非ご覧ください。

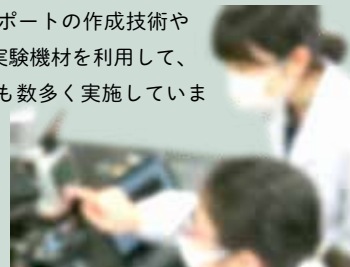
実験、観察中心の授業で

科学的探究心を磨き、思考力を鍛える



化学実験のようす

設備の整った2つの理科室をフル活用し、3年間で相当な数の観察、実験を行い、実験レポートの作成技術や探究の姿勢を身に付けていきます。豊富な実験機材を利用して、個別実験や発展的な内容を含む観察・実験も数多く実施しています。お茶の水女子大学の理系女性育成啓発研究所やサイエンス&エデュケーション研究所との連携授業も実施しており、学習を深め、豊かな発想を育む先進的な実践を行っています。



モニター付き顕微鏡でウコの受精の瞬間を撮影

幅広く豊かな音楽観と創造的な表現

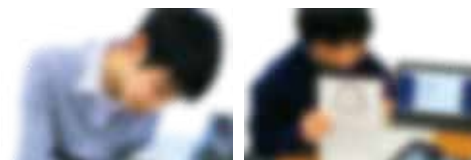
「(聴く・聞く) 耳と心」を研ぎ澄ませて音楽美を追究していきます。現在の旬な音楽からさまざまな時代・地域・ジャンルまで、多種多様の音楽に触れ、それぞれの魅力を味わい、幅広く豊かな音楽観が備わることを目指します。

毎年、演奏家を講師に招いて三味線ワークショップを実施し、1 学年では 40 台のヴァイオリンを使った実技を中心に、ウクレレや箏といった弦楽器の演奏基礎を学習します。また、ICT を活用した鑑賞活動や創作活動、学年度末には音楽行事を行っています。

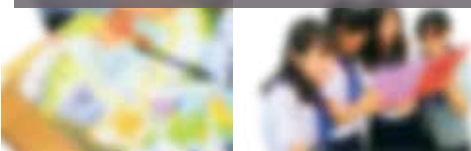


毎年行われる三味線ワークショップ

「気づく」、「感じる」、「伝える」を豊かに



美術を身近に感じながら、表現と鑑賞の活動に取り組む



目の前に在るものを丁寧に見取って描くクロッキーを通して、形や色彩の美しさに「気づく力」を高めていきます。この力を基礎として、木、石、金属、革などの様々な材料体験を通した幅広い表現の活動で、生徒たちの感性や創造力を育てます。

また、作品に込めた思いを伝えと共に、相手が伝えようとしている思いを受けとめる鑑賞の活動を個人やグループワークで行い、「伝える力」や「感じる力」を身につけていきます。美術作品や身近な仲間の作品から、よさや美しさを感じとる心を育み、深く感受する豊かさを養っていきます。



わかる・できる・楽しい保健体育

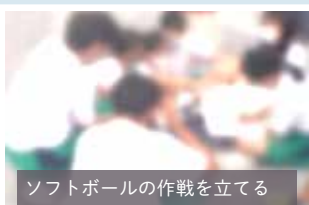
保健体育科では、様々な運動の楽しさを心と体で丸ごと体験してほしいと考えています。体づくり運動をベースにして、球技・陸上・武道・ダンス・器械運動・水泳など、それぞれの領域の種目について、主体的・協働的に学習を深めていきます。また、それぞれの領域で自分なりの楽しみを見出し、主体的に表現し、交流する活動を大切にしています。保健では、様々な健康課題を自分事として捉え、グループで考えを共有し、これからの生活をよりよくする姿勢を育てます。



オリジナルの運動ゲームを開発する



絵カードを使ってわかりやすく説明



ソフトボールの作戦を立てる



力を入れる場所を探して引き付けて投げる



サステナブルライフを創造する

心豊かな生活の自立を目指し、情報・ものづくり・衣食住・家族家庭生活・消費環境などを学びます。実験や実習、作品製作を通して、知識やスキルだけでなく、エビデンスにもとづいた科学的思考力や応用力、ものや人を大切に考える姿勢や実生活で実践してみようという意欲につなげていくことを大切にしています。



ICT 機器を通じた学年間の交流



外部講師による内容横断的な授業



附属幼稚園と連携した取り組み



附属高校生とのエンカール交流授業

ひと・こと・ものとのつながりのある学び



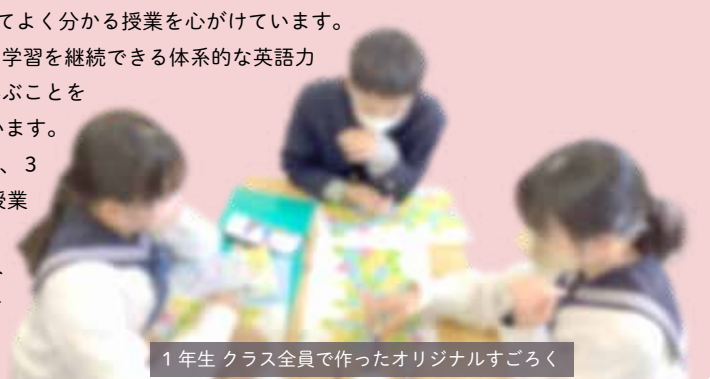
Let's Enjoy English!

～ Be Active, Be Positive ～

コミュニケーション能力を身につけることを目標として、楽しくてよく分かる授業を心がけています。

「聞く・話す・読む・書く」の4技能の力を総合的に伸ばして、自ら学習を継続できる体系的な英語力を身につけることをゴールにしています。国際語としての英語を学ぶことを通して、広く言語や文化に対する関心を高めることもねらいとしています。

ALT (Assistant Language Teacher) との授業、1, 2 年分割授業、3 年コース別授業、週1回のLL教室での授業、英語圏帰国生特別授業など、バラエティーに富んだ形態の授業を展開しています。基礎力定着のための小テストを数多く行っており、パフォーマンステストも実施しています。また、ICTを活用した言語活動にも力を入れています。



1 年生 クラス全員で作ったオリジナルすごろく



ALT による英語の分割授業



英語の辞書を使って課題を解決するグループアクティビティ



4 技能をバランス良く鍛える



総合学習では、身近な出来事や現代社会の課題を見つけます。見つけた課題について、グループ活動を通じて創造的かつ協働的に問題解決を行い、社会に向けて提案していきます。このプロセスを通じて、より良い未来を切り開く力を身につけることを目指します。

(写真上) 学年ごとに行われるディベート大会では、社会的な課題を論題として取り上げ、本格的な論戦が繰り広げられます。(写真下) 多様性をテーマとした外部講師による実践的な授業も数多く行っています。仲間ひとりひとりの価値観や意見の違いを認め、その違いをチームの強みにする、そんな仲間づくりにつながることを願っています。



ディベート大会



外部講師による多様性をテーマとした授業



道徳の授業は、考え、議論するアクティブな時間です。道徳的価値に根ざし、それに基づく人間としての生き方について自覚を深めていきます。様々な課題を自分ごととして捉え、行動する道徳の実践力を身につけることが目的です。

(写真) お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所と連携した道徳の授業。大学の野外教育施設周辺の海岸から採取した砂からプラスチックを採し、学習を深めます。



海岸の砂からプラスチックを採取する

お茶中生の学び・進路選択を支える

ICT を活用した学びのサポート

本校は2019年度から本格的にChromebookを導入し、一人一台端末環境で先進的な取り組みを行っています。日々の授業においてもICTを活用し、個に応じた多彩な活動が展開されています。



放課後補習

希望者を対象にお茶の水女子大学の学生等による学習会を行っています。授業の内容で十分理解できなかったところを確認したり、定期テスト対策を行ったりします。

オンライン授業

やむを得ず学校を休む場合、オンラインで授業に参加できます。

生徒 / 保護者面談での情報共有

定期的に担任と生徒で面談を行います。保護者面談も長期休みを利用して全員に対して行います。



全員に対して行われる丁寧な進路指導

進路指導は早い時期から全員に対して行います。面談等の機会も活用し、納得できる進路選択ができるようサポートしていきます。様々な高校の先生方をお呼びし、高校生活についてのお話を聞く会も毎年開催しています。



キャリア教育

お茶中では、自主研究

の課題発掘セミナーや、卒業生のお話を聞く会など、様々な分野で活躍されている方々をお招きしたり、現場を訪問したりする授業を多数実施しています。お茶中のキャリア教育は、社会に開かれた学校として社会と学校をつなぐ役割を担いながら、将来を見据え、真剣に学ぶお茶中生をサポートしています。



デジタル・シティズンシップ メディアリテラシーを育む教育

一人一台

端末が大前提となる中、お茶中生一人一人がデジタルの特性を十分に理解し、自分の学習に積極的に役立てていけるよう、デジタル・シティズンシップやメディアリテラシーに関する授業を定期的実施しています。ICT活用においても自主自律を掲げ、生徒会組織が中心となって使い方を含め日々の運用をサポートしています。



お茶中は、生徒一人一人に活躍できる場があります

男子の人数が女子の約半分であることから、学校生活に不安を感じる方もいるかもしれません。しかし、実際のお茶中は男女の区別なく、誰もが驚くほど「のびのび」と主体的に活動できる環境です。

私は生徒会や部活動、行事の運営など、多くの場でリーダーシップを発揮する機会に恵まれました。

一般生・帰国生を問わず、多様な仲間と互いを認め合う「自主自律」の精神は、私たちの大きな誇りです。

また、早期からの手厚い進路指導により、自分らしい未来をしっかりと見据えることができます。一人ひとりに活躍の場があり、誰もが主役になれるお茶中で、共に成長できる日を楽しみにしています！

お茶中生の声



2025 年度 第3 学年

帰国生徒教育学級

本校では、1979年に帰国生を対象とした「帰国子女教育学級（現在、帰国生徒教育学級）」を設置し、既に40年を越えました。その間、以下の学級の目的や教育方針を継続するとともに、異文化体験豊富な帰国生の特性伸長に努めています。

近年、帰国生の滞在国外、滞在期間、背景などが多様化していることやグローバル教育が今日的なテーマとなっている現状もふまえ、「多文化共生」「個に応じた教育」の一層の推進を図るとともに、「協働的な課題解決を支える思考・判断・表現の力を育成する授業づくり」をテーマとした授業・カリキュラム開発に取り組んでいます。



帰国生徒教育学級の目的

海外から帰国した生徒のうち、その海外在住国と日本における教育の事情が異なるため特別な指導が必要であると認められた生徒に対し、日本の環境に適応するための指導並びにその研究を行うことを目的としています。

学級編成

1年生では帰国生だけの特設学級（15名定員）で過ごします。2年生からは一般生との混合学級になります。

1年生：1クラス特設学級（帰国生のための竹組で過ごします）

2年生：2クラス混合学級（松・蘭・菊・梅組の全4クラスのうち、松・菊組の2クラスに分かれます）

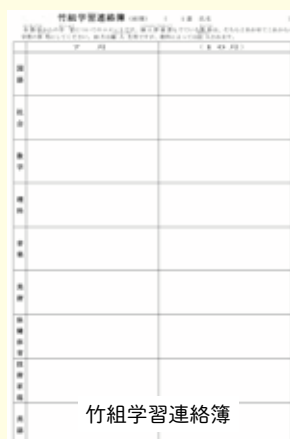
3年生：4クラス混合学級（松・蘭・菊・梅組の全4クラスに分かれます）

なお、1年生のときから、学校・学年行事、生徒会活動、部活動など学校生活全般は、一般生と一緒にいきます。



日々の学習・生活から進路選択まで充実したサポート体制

1. 少人数での丁寧な学習指導と、全教科でとられているチームティーチング（2～3名の教員による支援）体制
2. 学期ごとに発行される竹組学習連絡簿による学習アドバイス
3. 帰国生だけの補習の時間を確保
4. 帰国生同士の縦のつながり、一般生との交流
5. 英語圏からの帰国生に対応した英語の授業（毎年、英語圏からの帰国生の多くが、一般生とは別の授業を希望し、受講しています。）



英語圏からの帰国生のための英語の授業



放課後に宿題に取り組む



日々の授業で学習状況を丁寧に把握



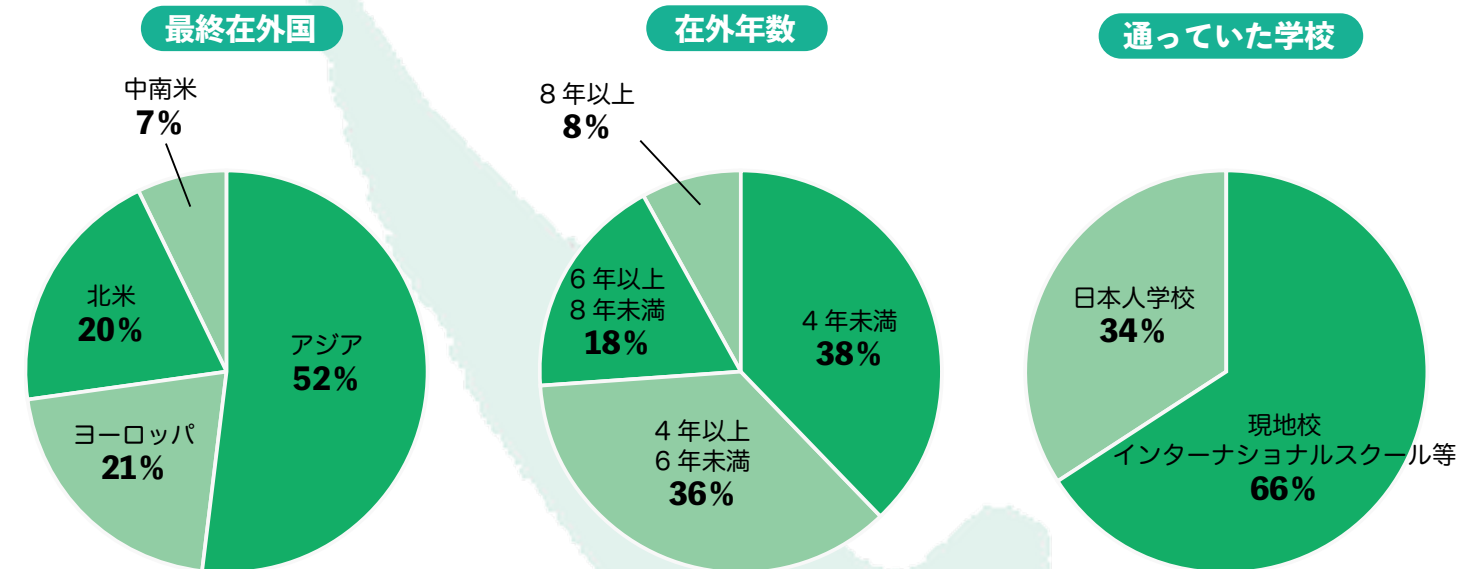
3人の教員が指導に入る国語の授業



全学年の帰国生が集う Kids to Kids の会

データで見る帰国生徒教育学級

過去5年間の受け入れ状況



帰国生の過去5年間の進学先

【国立】	【都立・県立】	【私立】			
お茶の水女子大学附属	明石工業高等専門学校	足立学園	慶應義塾女子	成城学園	富士見丘
筑波大学附属	釧路工業高等専門学校	郁文館グローバル	慶應義塾湘南藤沢	中央大学杉並	立教新座
筑波大学附属駒場	都立国際	浦和麗明	国際基督教大学	東京成徳大学	早稲田渋谷シンガポール校
	都立竹早	大宮開成	実践学園	桐光学園	早稲田大学高等学院
	都立白鷗	開成	渋谷教育学園幕張	東洋大学京北	早稲田大学本庄
	兵庫県立神戸	慶應義塾	順天	広尾学園	海外の高校
		慶應義塾志木	成蹊	広尾学園小石川	New International School of Japan

帰国生インタビュー

卒業生から見た お茶中の帰国生徒教育学級

Q 竹組での思い出は？何か困ったことはありませんでしたか？

A 9月編入であったため、学校に馴染めるか不安でした。でも、学校の和やかな雰囲気や協働して行う様々な活動のおかげで、すぐに学校生活に馴染むことができました。また、生活面や国語・数学を中心とした学習面でのサポートが手厚く、竹組の間に一般生とともに学ぶ素地を少しずつ育むことができたと思います。

Q 1年生の間は一般生と別のクラスとのことですが、一般生とも交流があるのでしょか？

A 当初から一般生もとてもフレンドリーで、授業や部活動、委員会活動などを通してたくさんの新しい仲間と出会うことができました。その中での2年生混合クラスへの進級であったため、不安もなく、心強い門出でした。お茶中は学校行事などのイベントも多く、それらがクラスに馴染むきっかけにもなり、充実した学生生活を与えてくれたと思います。

Q お茶中の帰国生徒教育学級で培ったもので、今も役立っているものは？

A 1つ目は、学力の伸びであると感じています。特に苦手意識のあった漢字と数学は、毎日個別にノートの確認をして下さるなど、温かい先生方に恵まれた環境であったと実感しています。2つ目は係活動や委員会活動を通して学んだ社会性や役割に対する責任感です。自主自律のお茶中には、帰国生も含め生徒のチャレンジを応援してくれる雰囲気があります。そんな環境であったからこそ、自信を持って様々な活動に取り組み、多くのことを学べたと感じています。



2018年卒業
萩野 穂高さん
京都大学公共政策大学院

お茶中カレンダー

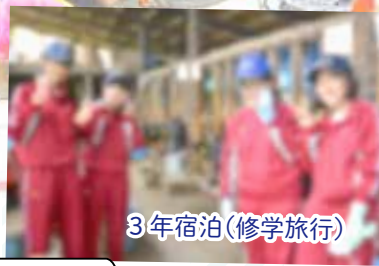
4月



入学式

「毎月何か、イベントがある」
そんなお茶中の1年をご紹介します。
年度によって多少時期がずれる
行事もあります。

6月



3年宿泊(修学旅行)



2年宿泊(林間学校)

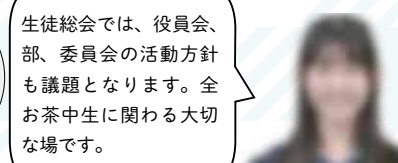
5月



歓迎会

お茶中の体育大会は広さが自慢の大学
グラウンドで行われます。クラスごとに
縦割りで団がつくられ、3年生がリー
ダーシップを発揮します。応援ダンス
は各団の個性が光ります。

体育大会



生徒総会



1年宿泊(グローバルキャンプ)

1年生の6月にあるグローバル
キャンプは友達が増える絶好の機
会です。一般学級、帰国生徒教育
学級、皆で一緒に盛り上がります。

7月



卒業生の話聞く会

お茶中を卒業した現役高校生や大学生の
お話は、勉強方法や自分の進路を選択す
る上でも大変参考になります。



左の4つの旗は、体育大会を盛り上げる団旗で
す。上の写真は作業のようすです。1年生から
3年生の担当メンバーで協力し、デザインから
ベースとなる生地まで自分たちで作ります。

お茶中生の声

お茶中でのかけがえない日々

お茶中には一年を通してさまざまな学校行事がありますが、どれも生徒自身が計画を立てて作り上げています。秋に行われる生徒祭では、実行委員が中心となって企画し、お茶中生全員がこの日に向けて夏休み前から準備や練習をします。私は昨年度、生徒祭の実行委員長を務めました。生徒祭のテーマ決めに向けて案を出し合い、各団体の予算や活動内容について話し合ったり、開会式・閉会式の出し物を考えたりと、生徒祭をより盛り上げるためにみんなで力を尽くしました。大勢で充実した時間を共有し、本気で取り組んだ経験は、私にとってかけがえない思い出です。お茶中では勉強にも行事にも全力で取り組むことができます。一度しかない中学校3年間、是非このお茶中で輝かせてほしいです。

2025年度 第3学年

9月

自主研究講堂発表では、各
グループの代表者が全校生徒
の前で発表を行います。

自主研究講堂発表



生徒祭 中庭での公演風景



生徒祭 吹奏楽部公演

生徒祭では文化部の
他、クラスや学年で
様々な展示や発表が
行われます。

生徒祭 クラス企画

生徒会活動のさかんなお茶中
では、生徒会選挙も大切な行事の
一つです。ここ数年は、投票もオン
ラインで行っています。

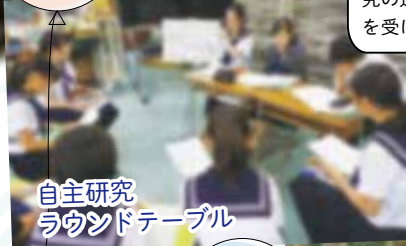
生徒会選挙

生徒祭 ダンス部公演

少人数のグループで行われ
るラウンドテーブルは、3
年生にとって自主研究最後
の発表の場であり、振り返
りの機会にもなります。1、
2年生からテーマ設定や研
究の進め方について、質問
を受けることも多いです。

10月

自主研究
ラウンドテーブル



11月

研究室訪問

お茶大の研究室を訪問する研究室訪問
は、お茶中に数ある大学の附属校なら
ではの取り組みの一つです。毎年大学の
先生方が多数協力してください。

1月

課題発掘セミナーは、これから
自主研究が本格的に始まる1年
生を対象に、様々な業界や分野
で活躍されている方をお呼びし、
少人数でのゼミのようなかたち
で行われます。お茶中卒業生が
来校されることも多く、毎年バ
リエーション豊かなセミナーが
開催されます。

課題発掘セミナー

2月

自主研究
ポスター発表

自主研究ポスター発表では、2年生全員がそれ
までの研究の成果を発表します。毎年他学年も
参観に訪れ、活気に満ちた会場で、個性が光る
発表を多数見ることができます。

12月

ランニングフェスティバル

ランニングフェスティバルでは、1年
生から3年生まで一緒に、広い大学構
内を走ります。

音楽行事



音楽行事は、年度の最後に最高に盛り上
がる行事です。どのクラスも練習を重ね
て本番に臨みます。

歓送会

3月

卒業式

スプリングイングリッシュ

この他、芸能鑑賞教室や部・委員会が主催する様々な企画、イベントが年間を通して多数行われています。

お茶中の部活動

現在、7つの運動部と4つの文化部が活動を行っています。



文化創造部



サッカー部



演劇部



卓球部



バスケットボール部



吹奏楽部



バレーボール部



硬式テニス部



バドミントン部



ダンス部



科学部

進路状況

1. 本校の進路指導・進学状況全般について

中学1・2年生から進路・進学学習を行い、ご家庭と連携しながらより良い進路選択を支援しています。女子の多くは隣接する附属高校に進学しますが、音楽科や美術科など専門性の高い高校や共学高校等を志望する生徒もいます。男女とも幅広く情報を収集しながら自分の進路について考えるようにすすめています。

2. お茶の水女子大学附属高校

自分の望む高校生活や将来の進路の実現のため、附属高校を進学先の一つとして考え、受験し進学している生徒が多くいます。基礎的な学力とそれを活用する力が問われ、普段の授業を大切にしていく必要があります。

3. 都立・県立高校

都立、県立受験は、ここ数年検定方法等が改定されているため、情報を早めに掴んでおかなければなりません。希望の高校への学校見学や説明会などに積極的に参加し、学校の特色を理解し学校選択をしていく生徒が増えています。

4. 私立高校

一般受験の場合、学校の特色等をしっかり捉え、本人にあった進路を選択できるよう支援しています。推薦制度には様々な呼び方や選抜方法があり、学校説明会や相談会・見学会等へ参加し、各学校の情報をしっかりと集め、確実な進路選択ができるよう促しています。指定校推薦については、複数の学校から推薦枠を頂いています。

令和8年度高校入試合格一覧（令和7年度卒業生）

高等学校名			男子	女子	高等学校名			男子	女子	高等学校名			男子	女子
国立	お茶の水女子大学附属高等学校	—	59	私立・海外	慶應湘南藤沢高等学校	1	0	私立・海外	東海大学付属高輪台高等学校	1	0			
	筑波大学附属高等学校	2	1		京華高等学校	3	—		東京音楽大学附属高等学校	1	0			
	東京科学大学附属科学技術高等学校	3	0		京華女子高等学校	—	1		桐光学園高等学校	0	1			
	茨城工業高等専門学校	1	0		佼成学園女子高等学校	—	1		東京成徳大学高等学校	2	2			
公立	埼玉県立川口高等学校	1	0		國學院高等学校	3	0		二松学舎大学附属高等学校	1	0			
	都立上野高等学校	1	0		国際基督教大学高等学校	1	1		日本工業大学駒場高等学校	1	0			
	都立国際高等学校	0	1		駒澤大学高等学校	1	0		日本大学第一高等学校	0	1			
	都立日比谷高等学校	0	1		駒場学園高等学校	1	0		日本大学豊山女子高等学校	—	2			
	都立六本木高等学校	0	1		埼玉栄高等学校	1	0		日出学園高等学校	1	0			
私立・海外	都立産業技術高等専門学校	1	0		栄東高等学校	4	3		広尾学園高等学校	1	0			
	青山学院高等部	0	1		桜丘高等学校	0	1		富士見丘高等学校	—	1			
	足立学園高等学校	1	—		実践学園高等学校	1	0		法政大学国際高等学校	1	2			
	郁文館高等学校	2	0		芝国際高等学校	1	0		保善高等学校	1	—			
	市川高等学校	0	2		渋谷教育学園幕張高等学校	0	1		明治学院高等学校	1	1			
	上野学園高等学校	1	0		秀明高等学校	2	0		明治学院東村山高等学校	0	1			
	浦和学院高等学校	1	0		淑徳巣鴨高等学校	2	0		明治大学付属明治高等学校	0	1			
	浦和実業学園高等学校	2	0		城北埼玉高等学校	1	—		目黒学院高等学校	0	1			
	江戸川学園取手高等学校	1	0		昭和学院高等学校	1	0		目白研心高等学校	1	0			
	大宮開成高等学校	1	0		昭和学院秀英高等学校	0	1		屋久島おおぞら高等学校	1	0			
	開成高等学校	1	—		スイス公文学園高等部	0	1		ラ・サール高等学校	1	—			
	かえつ有明高等学校	1	0		巣鴨高等学校	1	—		立教新座高等学校	4	—			
	北里大学附属順天高等学校	1	0		成城学園高等学校	1	1		早稲田大阪高等学校	1	1			
	慶應義塾高等学校	3	—		専修大学松戸高等学校	1	0		早稲田佐賀高等学校	2	0			
	慶應義塾志木高等学校	2	—		玉川聖学院高等部	—	1		早稲田実業学校高等部	0	1			
	慶應義塾女子高等学校	—	2		中央大学杉並高等学校	0	1		早稲田大学本庄高等学院	1	3			
										その他			0	1

卒業生からのメッセージ



杉山 真也 さん

TBS テレビ アナウンスセンター

お茶中で過ごした3年間は、私の人生の原点です。
卒業して約25年が経ちますが、不思議なもので未だに当時の風景・音・香りなどが鮮明に思い出されます。五感で当時の瞬間を覚えている、よくわからないけれど身体に染みついちやっている感じ、それほど濃厚な日々でした。

授業や休み時間ももちろん、授業よりも力を入れて皆で準備した体育大会、生徒祭、合唱コンクールなどの行事、部活動や委員会。近くでサポートして下さる先生方に最高の仲間達。

この素晴らしい環境での日々が「お茶中らしさ」を育んでいくのだと思います。同級生達もそれらをベースに

自分の道を進み、個性を生かして各々のステージで輝いています。

当時は学校で前日のTV番組の話をよくしていました。今はアナウンサーとしてお伝えする側になりました。

友人が入るからという理由で野球部に入りました。今も部活の仲間と草野球チームを続けていて、気付いたら200試合も一緒にプレーしていました。

自主自律の精神が自然と育まれた時間。
放送への能動的な下準備の根幹になっています。
これからお茶中で過ごせる皆さんが羨ましい！

この3年間に、人生の種となる素敵な出会いが待っていると思います。



森下 瑠里花さん

日本マイクロソフト株式会社 モビリティサービス事業本部

お茶中での3年間は、科学的思考と探究心、周囲と協働する力を養うことができた、かけがえのない日々でした。

特に思い出に残っているのは、毎週楽しみにしていた自主研究の時間です。当時はスマートフォンが普及し始めていた時期で、私は情報通信技術の浸透・発展をテーマに設定しました。大学の研究室訪問やグループメンバーとの議論を通じて研究を深め、最終的には、学校説明会の日に研究成果を大学講堂で発表する機会も頂戴しました。自主研究を通じて、楽しみながら科学する経験を積むことができました。

お茶中での3年間を経て、私は学校生活の中ますます探究活動に時間をかけたいと思うようになりました。進学

先のお茶高では高大連携特別プログラムに参加して、大学の授業を先取りして学びました。その後はお茶大、東大大学院へ進み、アメリカや香港へ留学する機会にも恵まれました。これらの経験は今の仕事につながっています。

私は現在、生成AIという新しいテクノロジーを、世の中や仕事でどう活かしていくかを考え、提案する仕事に力を入れています。お茶中生だった頃と同じように、社会のデジタル化と課題解決に関心があり、お茶中時代に培った探究心は、新しい技術に向き合う力になっています。

AIは私たちの可能性を広げてくれる心強い相棒です。テクノロジーを味方につけて、皆さんと一緒に、より良い未来を作っていけたら嬉しいです。



楓 真紀子 さん

かえで法律事務所 弁護士（第一東京弁護士会所属）

私は、中学からお茶の水に入学し、お茶の水女子大学附属高校を経て、中央大学法学部に入学し、その後、司法試験を経て、弁護士になりました。現在は、西新宿に事務所を構え、離婚や相続などの家庭問題や労働問題など、女性を取り巻く法律問題に積極的に取り組んでおります。

さて、お茶中のよいところはいろいろありますが、一番の魅力は、生徒の自主性を尊重し、先生方が、生徒の可能性を信じ、見守り、応援してくれるところです。生徒が中心となって企画運営する生徒祭は、どのクラスの出し物も魅力的で面白く、後夜祭のバンド演奏なども生徒が主体となって大いに盛り上がりました。その当時の光景は、かけ

がえのない思い出として、今でも心に残っています。

お茶中には、自分の好きなことをとことん追求し、それを応援してくれる環境があります。お茶中の卒業生は、それぞれ得意なことを生かして、いろいろな分野で活躍している仲間が多く、その多様性には驚くばかりです。

私は弁護士として、依頼者の人生観やその方が何を望むかを最大限尊重し、最善と思われる解決方法を柔軟に考え、行動することが大切だと考えていますが、それは、様々な価値観を認め合い、主体的に物事を考え、理想に向かって努力することを応援してくれるお茶の水の校風により培われたのだと確信しております。



秋山 度 さん

日本放送協会 報道局 科学・文化部

中学生の私に会ったら「報道記者なんて」と驚く顔が浮かびます。記者になって約10年、ノーベル賞など話題の人物取材する機会にも恵まれましたが、中学時代は、感性豊かな同級生と比べると流行り廃りに疎いマイペースな生徒でした。もし5歳児が見たら「ボーっと生きてんじゃねーよ！」と言われたでしょう。

しかし、そんな私でも記者として今やっていけるのは、お茶中で多様な価値観を持つ同級生に出会えたこと、そして探究する楽しさを教えてもらったからこそです。

記者の仕事は千差万別なので、あくまで私個人の考えですが、日々の取材は「なぜ」を突き詰めていく作業です。「な

ぜ被害はなくなるのか」など自分なりに疑問を設定し、取材対象と向き合っていくことが問われます。時には、多数意見や教科書であっても疑問を持つ必要があります。何事も疑うのは疲れると思われるかもしれませんが、記者をしていると「なぜ」に答えてくれる人が必ず現れるもので、この偶然の出会いが新たな「なぜ」を生み出し、新事実や課題解決などに繋がっていくことがあります。これが楽しい！！

各分野で活躍されている先輩は多いので、今後は後輩との出会いも楽しみにしています。

INFORMATION

【平日学校説明会】

Hello ! お茶中

2026 年 5 月 20 日 (水)

11 月 18 日 (水) 開催

オープンスクール

お茶中生がガイドする校舎見学ツアー

2026 年 7 月 25 日 (土) 開催

生徒祭

2026 年 9 月 19 日 (土)、20 日 (日) 開催

学校説明会・校舎見学会

2026 年 10 月 17 日 (土)

2026 年 11 月 録画配信実施

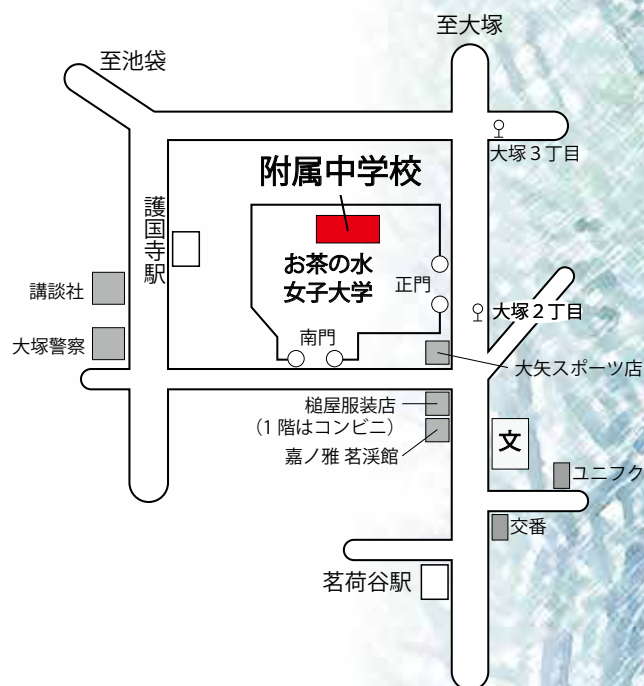
いずれも事前申込が必要です。

詳細は決まり次第、本校ウェブサイトに掲載します。



8 ~ 10 ページの教科のパネルは
文化創造部が作成したものです。

学校案内図



◆交通案内

地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅より 7 分

有楽町線 護国寺駅より 13 分

バス 都バス 大塚2丁目より徒歩 1 分

(都 02 系統 大塚駅～錦糸町駅、

都 02 乙系統 池袋駅東口～

東京ドームシティ)

大塚3丁目より徒歩 3 分

(上 58 系統 早稲田～上野松坂屋)

国立大学法人

お茶の水女子大学附属中学校

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

Tel 03-5978-5862

Fax 03-5978-5863

<https://www.fz.ocha.ac.jp/ft/>

